

電 力 情 報

NO . 3 2

平成 2 3 年 7 月 2 6 日

東 北 電 力 (株)

6 月分の電力需給実績について

1 . 電力需要について (表 - 1 参照)

6 月分の販売電力量は、5 5 億 1 , 9 0 0 万 k W h、対前年比 8 7 . 0 % の実績となり、東日本大震災の影響などにより、4 カ月連続で前年実績を下回りました。

用途別の実績については、以下のとおりです。

○ 特定規模需要以外の需要 (自由化対象以外のお客さま)

電灯は、東日本大震災の影響などにより、対前年比 9 0 . 2 % の実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比 9 0 . 1 % の実績となりました。

○ 特定規模需要 (自由化対象のお客さま)

業務用電力は、東日本大震災の影響などにより対前年比 8 1 . 4 % と、前年を下回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比 8 5 . 5 % の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

[参 考]

○ 大口電力

大口電力は、東日本大震災の影響などにより、対前年比 8 6 . 9 % の実績となり、4 カ月連続で前年実績を下回りました。

2．供給力について（表 - 2 参照）

6月の発受電電力量の合計は、60億4,200万kWh、対前年比87.3%の実績となり、東日本大震災の影響などにより、4カ月連続で前年実績を下回りました。

（自社水力）

出水率は118.6%の豊水となりました。

前年との出水率の違いなどにより、発電量は、前年を8,600万kWh上回る8億4,600万kWhとなりました。

（自社火力）

東日本大震災の影響により、停止した発電所の発電量を補うため、被災を免れた発電所が高稼働したことや、前年との運転状況の違いなどから、発電量は前年を8億5,900万kWh上回る33億3,300万kWhとなりました。

（自社原子力）

東日本大震災の影響により、女川原子力発電所の全号機が停止中であること、および東通原子力発電所1号機が定期検査で停止していることから、発電量はありませんでした。

（自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を900万kWh上回る7,500万kWhとなりました。

（他社受電）

東日本大震災の影響により、他社の発電所において停止しているプラントがあることや、前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を7億2,000万kWh下回る12億5,200万kWhとなりました。

以 上